

表彰

日本油化学会功績賞

妻 鳥 正 樹 氏
(元 花王株式会社)



妻鳥正樹氏は、1977年3月に名古屋工業大学大学院修士課程を修了され、同年4月に花王石鹼(株)(現花王(株))に入社されました。花王石鹼(株)では研究開発本部家庭品研究所に配属になり、家庭用の洗剤、洗浄剤の商品開発研究を担当されました。住居用洗剤開発の室長、衣料用洗剤・仕上げ剤開発の室長などを担当された後に、2002年ハウスホールド研究所所長、2007年ファブリック & ホームケア研究センター長、2012年花王エコラボミュージアム館長を歴任され、2016年に花王(株)を退職されました。現在は花王(株)顧問、産業技術総合研究所客員研究員の他、業界、学術団体のサポート活動をされておられます。

花王(株)研究開発部門では家庭用や業務用の洗剤・洗浄剤の商品開発研究のリーダーとして、界面現象の解析、新しい素材の開発、配合技術の開発などの研究を進められ、皆様よくご存じのアタック、ハミング、ハイター、キュキュット、マジックリン、クイックル等の数多くの商品開発を担当されました。研究の成果は、日本化学会年会、日本油化学会年会、日本繊維製品消費科学会年次大会、American Oil Chemists' Society (AOCS) 年会、WCOS 京都大会、Fabric & Home Care World Conference、ISF: International Society for Fat Research 等の国内外の学会で発表され、油化学の応用分野の一つである洗剤・洗浄剤分野の発展に大いに貢献されました。

また、学会活動を通じてグローバルなネットワークを構築され、American Oil Chemists' Society (アメリカ油化学会)のボードメンバー、Fabric & Home Care World ConferenceのExecutive Program Committee委員、CESIO: European Committee of Organic Surfactants and their Intermediatesのプログラム作成委員なども担当され、国際的な学術学会、会議の企画、運営にも参画されました。

妻鳥氏の日本油化学会における貢献は、2013年から、洗浄・洗剤部会幹事、また2016年に国際交流委員会委員長として理事を務められました。また、アメリカ油化学会と共同開催しました、

- 2012年 ジョイントシンポジウム 佐世保大会 (WCOSと同時開催)
- 2014年 ジョイントミーティング サンアントニオ大会 (AOCS年会と同時開催)
- 2018年 ジョイントシンポジウム 神戸大会 (JOCS年会と同時開催)

のジェネラルチェアを担当されました。ネットワークをいかしてJOCSは、AOCSから多くの発表者を集められ、特に2014年のサンアントニオ大会では、日本から約40名の発表団をまとめられました。

また、最近では2017年洗浄・洗剤部会シンポジウム、2018年洗浄・洗剤部会オープンセミナーの講師を務められ、現在も国際交流委員会委員、総務委員会・HP(ホームページ)小委員会委員を担当されています。

日本油化学会と海外油化学会の関係構築だけではなく、日本油化学会会員を海外の研究者に積極的に紹介しグローバルなネットワークづくりを積極的にサポートされるなど日本油化学会の国際化に大きく貢献され、その業績は誠に功績賞に相応しいものと思われまます。

筆者は妻鳥氏の後任として国際交流委員長を担当し、国際学会で一緒する機会に恵まれましたが、その気さくなお人柄ゆえ、諸外国の油化学会重鎮からも「Hi, Masaki ♪」と声を掛けられそのネットワークの広さに驚くとともに、国際交流の点では大いに助けていただきました。これからも益々お元気に世界を飛び回ってご活躍されることを期待しております。この度は、功績賞受賞、誠にありがとうございます。

(日本油化学会 2018年国際交流委員長 田中成佳)